

ぽかぽか

4・5月合併号

春を楽しもう！！

暖かくなり、戸外に出ると春の草花や虫たちを目にすることが多くなりました。
春になると、ひらひらと飛んでくるちょうちょの制作をご紹介します。
ご家庭でも春を感じながら遊んでみてください。

ひらひらちょうちょの作り方

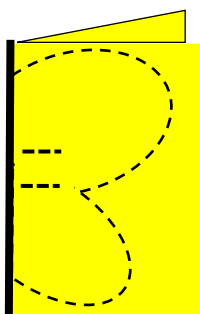
【材料】

好きな色の折り紙・ペン・はさみ・シール

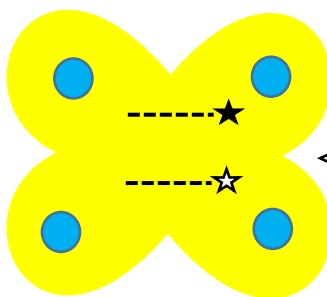
①折り紙を半分に折り、折った状態で
図の点線部分をはさみで切ります。

②切ったちょうちょを広げ、ペンや好きな
シールで飾りつけをします。

折り目は切らない
ように気を付けて
ください。



※はさみを使う時は、けが
をしないように気を付け
て行ってください。



紙の下から☆の点線部分に
指を入れ、紙の上から★の点
線部分に指を通します。
ちょうちょが指に止まった
ように見えます。

ひらひらちょうちょの遊び方

- 指にちょうちょが止まったイメージで遊んだり、ちょうちょの歌に合わせてひらひらさせて遊んだりすることができます。
- お子さんの指に通すことが難しいときは、大人の指に通して、ひらひらさせながら、歌ってあげることもできます。
- 様々な色や模様のちょうちょを、たくさん作って楽しむこともできます。



端午の節句とこどもの日

もともと5月5日は「端午の節句」という、男の子の健やかな成長や幸せを祈ってお祝いをする伝統行事の日でした。1948年に、5月5日が「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」という国民の祝日に制定されてから、端午の節句の日が、「こどもの日」にもなったそうです。そのため、「こどもの日」は男の子だけでなく、こどもたちみんなが元気に育ち、大きくなったことをお祝いするようになりました。

こいのぼりは、「川の流れに逆らって上昇する鯉のように、たくましい子に育てて欲しい。」という願いを込めてあげられるようになったという由来があります。また、こどもを災いから守ることを目的に五月人形も飾るようになりました。 ※諸説あります。

「ぽかぽか」について・・・親子で「ぽかぽか」温かい気持ちになってもらえるように、毎月様々な情報を発信していきますので、ぜひご覧ください。次号もお楽しみに。

